



おにぎり通信

2015年4月25日（土曜） 四ツ谷おにぎり仲間

こんにちは！私たちは毎週土曜日に、銀座・日比谷公園、東京駅周辺で生活されている方々を訪問しているボランティアグループです。

また、性懲りもなく記念日の話をします。今日4月25日は「拾得物の日」です。1980年のこの日、銀座で現金1億円の「落とし物」が見つかったことにちなんでいます。この1億円、落とし主は現れず、拾った人に全額が渡ったそうです。

☆4月13日（月）福祉行動報告
どなたもお見えになりませんでした。



次回の福祉行動：4月27日（月）朝8時30分までに東京駅丸の内北口地下に集合してください。喫煙所横、コンビニの並びの赤富士の絵のところに「おにぎり通信」を持った者が待機していますので、声をおかけください。
病院に行きたい方や、体を休めたい方と一緒に「福祉事務所」や「聖イグナチオ生活相談室」まで、ボランティアが同行いたします。
福祉行動は原則として毎週月曜日に行います。
福祉行動は参加されるそれぞれの方が、ご自身の希望をご自身の言葉でハッキリと伝えることにより成り立ちます。

最寄の福祉事務所ほか
中央区福祉事務所…中央区築地 1-1-1 中央区役所4階
千代田区福祉事務所…千代田区九段南 1-2-1 3階
聖イグナチオ生活相談室…千代田区麴町6-5-1 聖イグナチオ教会内

<天国と地獄の長いスプーンの話>

人間社会では、なぜ戦争や殺人のような痛ましい事が起こるのか、その疑問に答え
てくれるようなお話をを見つけましたので、ご紹介します。

ユダヤ人の精神科医アーヴィン・ヤーロムの本がきっかけで世界に知られるよう
になった「天国と地獄の長いスプーン」の話です。日本では長い箸の話として紹介
されることもあります。以下のようなお話です。

「ある人が地獄をのぞいて見ると、ご馳走のいっぱいならんだテーブルに座った人
たちが見えた。しかし、人々はやせ細っていた。

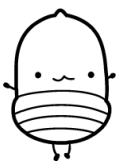
疑問に思い、よく見ると、彼らはその腕よりも長い柄のスプーンを手にくくりつけ
られていた。またもう一方の手は椅子に固定されていた。人々はスプーンでおいし
そうな料理をすくい取るが、スプーンが自分の腕より長いために、料理を自分の口
までうまく運ぶことができず、食べられなかったのだ。そのため、人々は飢えてや
せ細り、互いに憎みあい苦しそうであった。

次に、その人は、天国の様子を見た。人々は全く同じように、ご馳走の並べられ
たテーブルに座り、柄の長いスプーンを手にくくりつけられていた。

しかし、人々は十分に食べているように見え、すこぶる幸せそうであった。よく
見ると、彼らはその長いスプーンを使って、それぞれ向かいあって座る人に食べさ
せていたのだった。

食べ物がいっぱいのったテーブルを囲む人々、腕につけられた長いスプーン。地獄
でも天国でも、その環境はまったく同じなのです。しかし、地獄では自分のこと
しか考えない人たちが、料理を食べられずに飢えて苦しんでいたのに対し、天国で
は、相手のことを思いやり互いに料理を食べさせることで、人々は満腹し、感謝し
あい幸せに満ちていました。」

この話をヒントに、わたしたちも人を思いやることで身の周りから天国を作っ
ていけたらと思います。



おにぎりを包んでいるラップや読み終わった通信は放置せずに、ゴミ箱に入
れるなどして片付けにご協力をお願いいたします。

おにぎりはかならずその日のうちにお召し上がり下さい。

受け取るのは、1人1個でお願いいたします。

よつや なかま れんらくさき いわた
四ツ谷おにぎり仲間 連絡先:090-4959-0652(岩田)